

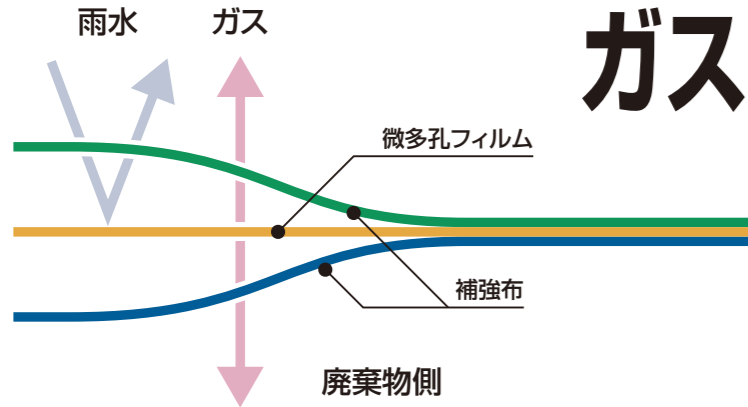
# ガス透過性防水シート

除染廃棄物仮置場用上部シート





# ガス透過性防水シート



## 特徴

- 1 ガス透過性防水シートは、遮水性とガス透過性の両機能を備えるシートです。
- 2 製品同士の接合は熱溶着が可能です。
- 3 溶着接合部においても、母材部と同程度の強度と優れた遮水性能を有しています。

\*端部圧縮加工部同士の接合の場合

## 標準物性表

<測定方法> ●質量・引張強度：JIS L 1908 ●貫入抵抗：ASTM D 4833 ●耐候性：JIS A 1415 WS形促進暴露試験1,000hr暴露後の貫入抵抗試験値  
●耐水度：低水圧法JIS L 1092 (mmH<sub>2</sub>O) 高水圧法JIS L 1092 (kPa) ●透湿度：A-1法JIS L 1099 \*日本遮水工協会が定める保護マットの自主基準値

	質量 g/m <sup>2</sup>	引張強度 N/5cm		貫入抵抗 N	耐候性 (貫入抵抗) N	耐水度		透湿度 g/m <sup>2</sup> ・24h 24h換算	遮光性 %	安全性 溶出性
		タテ	ヨコ			mmH <sub>2</sub> O	kPa			
環境省除染等工事共通仕様書	*400以上	*925以上	*925以上	*500以上	*500以上	1000以上		2500以上	*95以上	*基準値以下
ガス透過性防水シート	600以上	1200以上	925以上	600以上	600以上	2000以上	220以上	3000以上	95以上	基準値以下

## 接合部データ

<測定方法>  
●引張強度：JIS L 1908 準拠  
●耐水性：JIS A 1218 準拠

	引張強度 kN/m	耐水性 cm
ガス透過性防水シート同士	18.5以上	50
ガス透過性防水シート + 遮水シート	15.0以上	50

## 評価証明結果

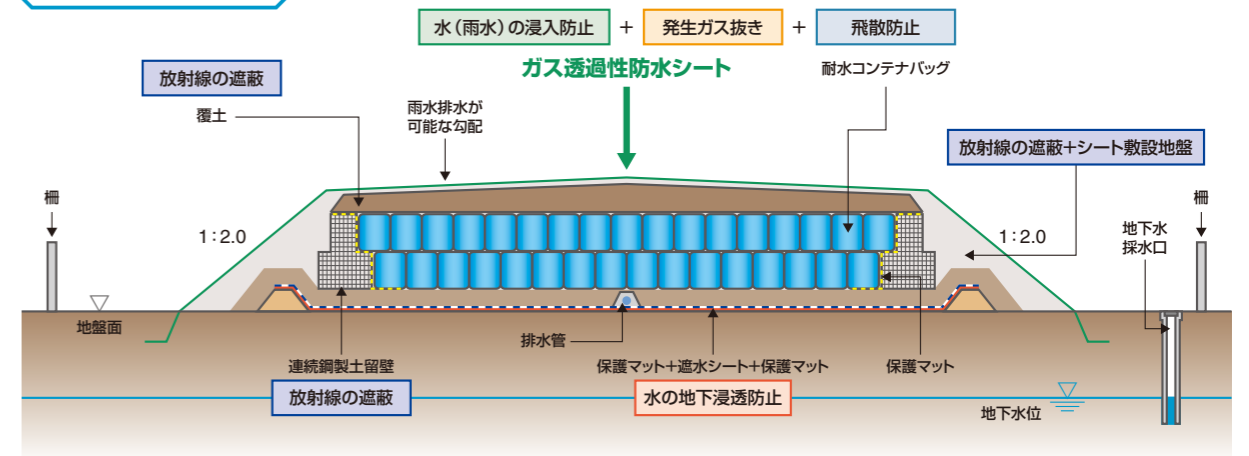
開発の目標を評価証明の方法に照らして評価した結果、「ガス透過性防水シートを用いたキャッピング工法」は以下の性能を有することが証明された。

- (1)標準的な接合方法（加熱圧縮処理された端部の自走式熱融着による接合）で構成されたガス透過性防水シート面が、50cmの水頭圧が加わっても漏水しないこと。
- (2)ガス透過性防水シートとその上部の覆土とで構成されるキャッピング層が面的なガス透過性を確保すること。
- (3)勾配1：2の斜面部においても、ガス透過性防水シート上部の覆土（厚さ50cm）の安定を確保すること。
- (4)重機による覆土施工や降雨等の履歴を受けた後も、ガス透過性防水シートを用いたキャッピングの遮水性、ガス透過性が初期性能と同等であること。

公益社団法人日本材料学会「地盤改良」に関わる技術評価証明 第1013号▶



## 模式図



## 工場加工状況



最大加工寸法：幅9.6m×長さ25m 重量：約160kg

## 荷姿 ※幅9.6m×長さ25mのシートを畳んだ場合



コンパクトに畳まれて出荷されます(パレットは付属しません)

## 現場施工状況



現場で溶着作業が可能です

## 遮水シートとの組み合わせ



遮水シート(ポリエチレンシート)との溶着も可能です



[施工例]

## ジオシンセティックス技術研究会 キャッピング工法開発部会

監 修 嘉門雅史 (ジオシンセティックス技術研究会 会長・一般社団法人環境地盤工学研究所 理事長・京都大学名誉教授)

会 員 (株)浅沼組・(株)大林組・(株)奥村組・(株)鴻池組・錦城護膜(株)・太陽工業(株)・(株)田中・  
東洋紡(株)・ダイワボウプログレス(株)・ユニチカ(株)・鳳コンサルタント(株)・  
(一)地域地盤環境研究所・(地)大阪府立産業技術総合研究所

連絡先 太陽工業(株)東北支店：TEL022-227-1364 ユニチカ(株)：TEL06-6281-5360